

鉄道中吊り広告から地域をみる



梅

NO. 102

今年の冬は寒いの一語に尽きるようです。さいたま市の1月26日の最低気温はマイナス9.8度を記録し、ただただ驚きです。

中吊り広告は、マクロ的には、自社他社別及び空欄率をはじめ例年例月の傾向とほぼ同様であると言えます。このところ上位を占めていた飲料を中心とする食品が大きく後退し、代って不動産が伸長しましたことがトピックスです。

【本レポートは、図書館のご協力により、さいたま市立中央図書館及び川越市立中央図書館でご覧いただけます。】

2018年1月レポート

・調査対象路線 東京圏の次の16線

- ①京浜急行線 ②JR 京浜東北線 ③東急田園都市線 ④小田急線 ⑤京王線 ⑥JR 中央・総武線 ⑦西武線 ⑧東武東上線 ⑨東武伊勢崎線 ⑩京成線 ⑪東京メトロ銀座線 ⑫東京メトロ丸の内線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭都営新宿線 ⑮都営浅草線 ⑯JR 山手線

埼玉県関係の次の12線

- ①JR 宇都宮線・高崎線 ②JR 京浜東北線 ③JR 武蔵野線 ④JR 埼京線・川越線 ⑤西武線 ⑥東武東上線 ⑦東武伊勢崎線 ⑧秩父鉄道線 ⑨埼玉高速鉄道線 ⑩つくばエクスプレス線 ⑪東京メトロ有楽町線 ⑫東京メトロ副都心線 ⑬東京メトロ半蔵門線 ⑭東京メトロ南北線 ⑮東京臨海副都心線 ⑯東急目黒線・田園都市線

・調査月日 平成30年1月9日(金)

・調査結果 東京圏全体と埼玉県関係に大別してまとめました。

東京圏全体

<全体的な状況>

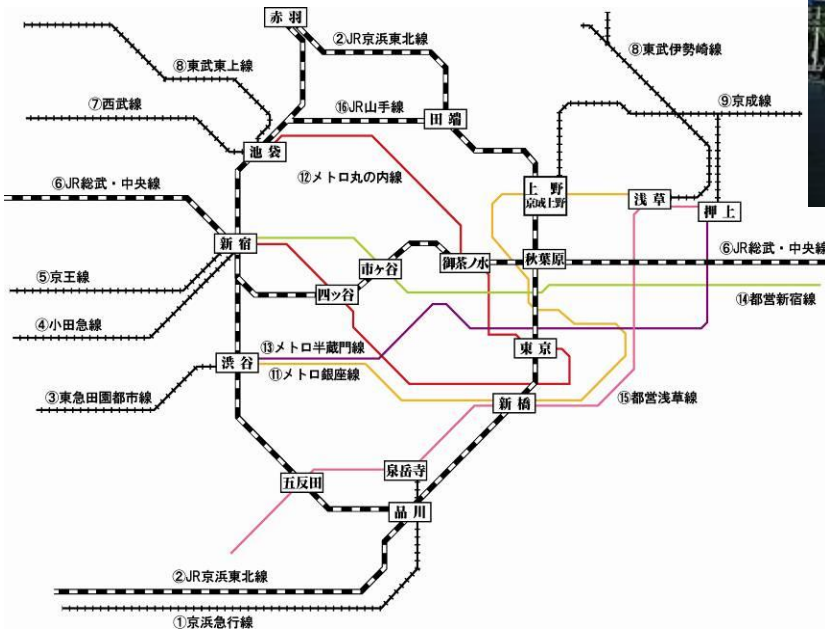
- ① 1月の広告業種別ベスト5は、①旅行レジャー(98)②お知らせ(66)③不動産(58)④商業施設(35)⑤各種商品(25)の順で、次点は出版とカード(19)でした。
② 自社と他社別では、自社が199で52.0%、他社が184の48.0%で久しぶりの逆転でした。
③ 空きスペースは63(14.1%)で前月から大きく増加しました。

<各線ごとのコメント>

- ・②⑥及び⑯のJR各線(京浜東北線、中央線・総武線、山手線)は、共通してダブル広告が多いのは例月どおりだが、各線別では京浜東北線と中央・総武線で不動産、山手線で旅行レジャーがトップでした。中央・総武線9業種、京浜東北線と山手線は8業種でした。空欄も常連化したようです。
- ・①の京浜急行線は、例月どおり旅行レジャーがトップ。お知らせ、不動産と続く。
- ・③の東急線は、8業種と前月より回復。お知らせ、各種商品と続く。
- ・④の小田急線は、旅行レジャーと商業施設がトップ。不動産、文化芸術、お知らせの順。11業種。
- ・⑤の京王線は、旅行レジャーと不動産がトップ。以下商業施設、お知らせと続く。
- ・⑦の西武線は、例月どおり旅行レジャーをはじめ、以下お知らせ、食品の順。自社率高い。
- ・⑧及び⑨の東武線(伊勢崎線と東上線)は、両線とも7業種。空欄は東上線で解消したが、伊勢崎線で8と目立つ。取引先である各社の新年のあいさつ広告が目立つ。
- ・⑩の京成線は、旅行レジャーが圧倒的。不動産、就職の順。6業種。
- ・⑪から⑬までの東京メトロ各線(銀座線、丸の内線、半蔵門線)は、銀座線で旅行レジャー、丸の内線で出版、半蔵門線でお知らせがトップ。銀座線と丸の内線では他社率が圧倒的に高いが半蔵門線では自

京王帝都電鉄代田橋駅

東京圏調査対象路線図



Wikipedia より

旧玉川上水



<https://townphoto.net/tokyo/daitabashi.html> より

東京沿線別 広告内容の状況 (全体表)

鉄道種別 広告業種	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計
	京浜急行線	JR京浜東北線	東急田園都市線	小田急線	京王線	JR中央・総武線	西武線	東武東上線	東武伊勢崎線	京成線	東京外口銀座線	東京外口丸の内線	東京外口半蔵門線	都営新宿線	都営浅草線	JR山手線	
出版		1		2	1	1	1				5	5	2			1	19
旅行レジャー	10	2	1	6	5	4	11	10	7	13	7	1	3	5	7	6	98
金融保険				1	2												3
不動産	4	7	2	3	5	7	4	2	1	4	4	4	2	2	3	4	58
教育学校				2	3		1				2	2		1			11
文化芸術	2			3			1						2	1	2		11
情報通信	1	1		2		3						3	2			3	15
食品							2	1	2								5
商業	2		2	6	3	1	6	5	2	2	1	2		1		2	35
カード		5	2	1	1	2		2	1				3			2	19
就職		1	1	1		1		1		2				1	1	1	10
宝くじ等			2			2				1	1	1	1				8
各種商品		5	4			2			1	1		2	6			4	25
お知らせ	5		6	3	4		6	7	10	1			7	10	6	1	66
官公庁																	
その他																	
空欄		6	8	2	4	5			8	2				11	13	4	63
合計	24	28	28	32	28	28	32	28	32	26	20	20	28	32	32	28	446
自社	17	7	12	22	11	10	23	15	13	14	6	3	17	9	10	10	199
他社	7	15	8	8	13	13	9	13	11	10	14	17	11	12	9	14	184

東武伊勢崎線加須駅



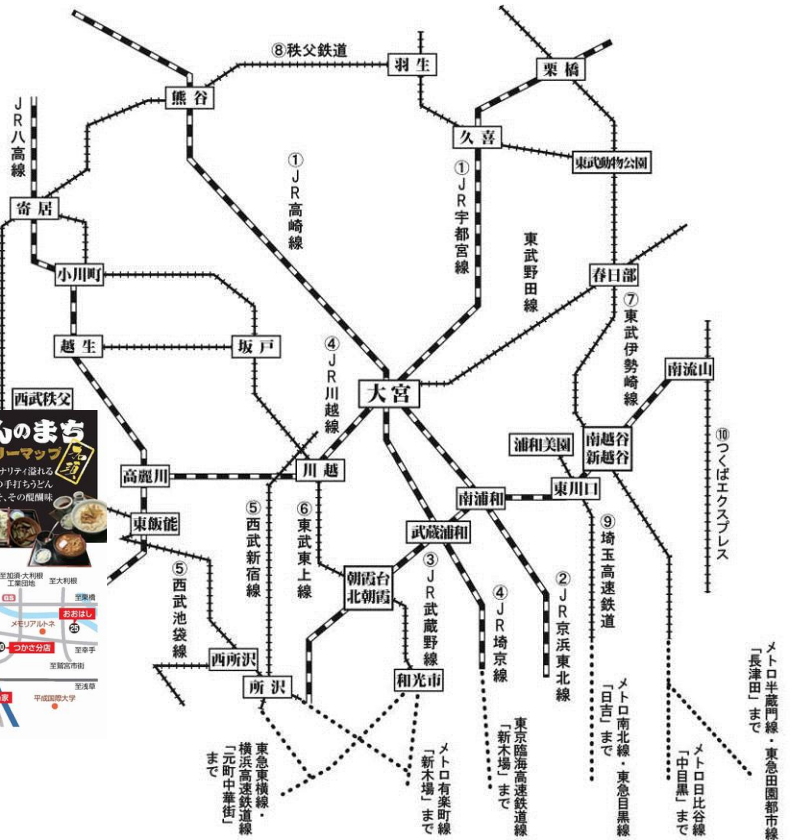
Wikipedia より

うどんマップ



加須市手打ちうどん会のホームページより

埼玉県内調査対象路線と相互乗り入れ線



埼玉県内鉄道沿線別の広告内容状況

鉄道種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計			
広告業種	JR宇都宮・高崎	JR京浜東北線	JR武蔵野線	JR埼京・川越線	西武線	東武東上線	東武伊勢崎線	秩父鉄道	埼玉高速鉄道	つくばEX	東京外口有楽町線	東京外口副都心	東京外口半蔵門線	東京外口南北線	東京臨海都市線	東急黒田園都市線				
出版		1			1				3		3						8			
旅行レジャー	4	2	5		11	10	7	4	13		6						62			
金融保険				JR京浜東北線に同じ						JR山手線に同じ		メトロ副都心線に同じ					0			
不動産	4	7	3		4	2	1		2		2		2							25
教育学校	1				1				1		2		2							7
文化芸術					1						1		2							4
情報通信	1	1	5								1		2							10
食品						2	1	2												5
商業	2					6	5	2			1		2							18
カード	6	5	4				2	1					3							21
就職	3	1	1				1						1							7
宝くじ等											2		2							4
各種商品	2	5	5					1	5											18
お知らせ	1					6	7	10	6		3			3						36
官公庁																				0
その他																	0			
空欄	4	6	5				8	12									35			
合計	28	28	28		32	28	32	28	28		28						260			
自社	8	7	8		23	15	13	11	4		17						106			
他社	16	15	15		9	13	11	5	24		11						119			

社率が高い。

- ・⑭及び⑮の都営地下鉄各線（浅草線、新宿線）は、前月に続き両線通じて空欄再び増加で24。両線を通じて旅行レジャーとお知らせが目立つ。

鉄道各線の業種別広告内容は、2・3ページをご覧ください。

埼玉県関係

<全体的な状況>

- ① 埼玉県内に路線を有する鉄道は、JR、東武、西武、秩父鉄道、埼玉新都市交通、埼玉高速鉄道、つくばエクスプレスの7会社ですが、このうち中吊り広告を有する路線を対象に調査を実施しました。
- ② 掲載する中吊り広告は、鉄道各線が次のようにグループ化され同一内容になっています。
 - ・JR京浜東北線、埼京線、川越線、八高線（注：高麗川以南）
 - ・JR宇都宮線、高崎線
 - ・JR武蔵野線（JR中央・総武線に同じ）
 - ・西武各線
 - ・東武線（東上線及び越生線を除く各線）
 - ・東武東上線及び越生線
 - ・秩父鉄道線
 - ・埼玉高速鉄道線（東京メトロ南北線と基本的に同一内容）
 - ・つくばエクスプレス（JR山手線と基本的に同一内容）

<各線ごとのコメント>

- ・①のJR宇都宮線、高崎線は、空欄4とさらに改善。カードをはじめ旅行レジャー、不動産と続く。
- ・③の武蔵野線は、今月は6業種とダウン。旅行レジャー、情報通信、各種商品で大半。
- ・⑧の秩父鉄道線は、今月もお知らせ、各種商品、旅行レジャーで御三家。空欄12と大幅増。
- ・⑨の埼玉高速鉄道線は、旅行レジャーがダントツ。9業種で分散。

—ミニ特—集「電車の車体広告の値段のお話」—

近年よく見かけるようになった、電車の外部壁面全体を使用する車体広告。首都圏の鉄道であれば、平日の通勤時間帯はかなりの人数の目に触れる。鉄道利用者はもちろんのこと、鉄道の沿線を通行する人の目にも触れることとなり、その宣伝効果は計り知れない。

最近目立ってきている電車の車体広告であるが、その歴史は意外と古い。1964年（昭和39年）に、長崎電気軌道の路面電車を実施されたのが日本で初めてだと言われている。特に、車体広告で経済効果が大きいと注目されたのは、東京都交通局が2000年（平成12年）に導入した都営バスである。

東京都では、2000年4月に屋外広告物条例を改正し、地上を走る電車は表面積の10%までの広告が許容されるようになった。その後、横浜市、川崎市、千葉市、名古屋市、大阪市、神戸市、福岡市等の大都市の公営・民営の公共交通機関でも実施されるようになり、車体広告の電車等を見る機会も増えてきた。

以前、埼玉ニューシャトル線で「彩の国さいたま」のイメージ広告をプリントした電車が走行していたことを記憶されている方もあるのではないのでしょうか

各線で車体広告をほどこした電車が増加していますので、目にする機会も多いと思います。（MH）

